

7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (北陸)	◎	－	－	－
	○	商店街（代表者）	来客数の動き	・前年と比べて雪が少なく、今のところ新型コロナウイルスによる商店街への影響も少ない。しかし、周りの新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況をみていると先行きは不透明である。飲食関係への助成がしっかりしており、以前と比べて危機感は少ない。人の流れがこれからどうなるのか不透明感が否めない。
	○	家電量販店（店長）	販売量の動き	・給付金の給付が始まり、冷蔵庫、洗濯機、テレビ、エアコンなど大型家電の販売数が増えている。
	○	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・今月に入って少しずつ販売量が増えている。3か月前と比べると、特に中古車において早い段階で成約数が多くなっている。
	○	美容室（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染に対するおそれがかかりあり、客の警戒心は変わらないが、今年は今のところ例年より積雪が少ないからか、前年同月と比べると売上、来客数共に5%ほど増えている。
	□	百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・年末年始を故郷で過ごす帰省客や帰省を迎える家族の買物で、年末はおせちを中心に食品が好調に推移し、年始は防寒衣料のコートやブーツ等を中心にアパレルの高額品にも動きが出ている。
	□	百貨店（販売担当）	お客様の様子	・中盤までは、帰省客や久しぶりの家族連れ客のセールにおける買物などで財布のひもが緩んだため、来客数や売上がやや改善していた。しかし、中盤以降は新型コロナウイルスの感染拡大により停滞している。購買行動は目的の商品を短時間で購入する傾向が加速している。食事やお茶をゆっくりする客は少ない。ただし、1年前のように怖くて来店しないという傾向はない。入学式や卒業式、リクルートなどのビジネス関連がやや通常に戻り、動きがある。
	□	スーパー（総務担当）	お客様の様子	・安売りや無料サービスに客が引っ張られている。
	□	スーパー（店舗管理）	競争相手の様子	・原材料の値上げに伴い、ドラッグストアでもグロサリーの値上げが見受けられる。客単価は上がっているが、来客数、購入点数が落ちているため、全体の売上も下がっている。
	□	スーパー（統括）	販売量の動き	・客単価及び買上点数が伸びていない。依然として消費者の節約志向が高いと考える。
	□	家電量販店（本部）	単価の動き	・年末年始は給付金の効果がみられたが、全体では決して良くない。
	□	乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・自動車販売に関しては従来の部品不足に加え、製造工場での新型コロナウイルス感染者の発生に伴い、一旦回復していた配車が再び遅れ始めている。納車に遅れが目立ってきたため、売上にならない。数か月前と同様の状況になっている。
	□	自動車備品販売店（役員）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き回復傾向だったが、第6波により一気に集客が落ち、購入も必需品にとどまっている。整備士不足も更に深刻になっており、客の要望に応えられない状況が続いている。
	□	住関連専門店（役員）	販売量の動き	・最近の消費における特徴として、販売量が伸びず単価が上がる傾向にある。何とか耐えているが、販売量の減少は大きな課題である。
	□	その他専門店 [酒]（経営者）	販売量の動き	・毎年節分が終わると暇な状態になるが、今年は節分前でも暇である。
	□	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・新製品が出たにもかかわらず、販売数が伸び悩んでいる。
	□	通信会社（役員）	販売量の動き	・引き続き今月も通信、放送共に契約数が前年同期を上回り、好調を維持している。
	□	通信会社（役員）	販売量の動き	・当社サービスの加入数の状況を見る限り、3か月前と大きな変化はみられない。
	□	パチンコ店（経理）	販売量の動き	・売上に余り動きがない。
	□	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・県別の受注高に大きな差がある。また、成約する客層も狭くなってきている。

□	住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・住宅展示場に来場する客の状況が以前と変わらない。
▲	一般小売店〔精肉〕 (店長)	販売量の動き	・豚肉ととり肉の動きは非常に活発だが、ギフト等の牛肉の動きが良くなり、売上を落としている。
▲	一般小売店〔鮮魚〕 (役員)	販売量の動き	・1月に入り新たに新型コロナウイルスオミクロン株が感染拡大し始めて大きな影響が出ている。まん延防止等重点措置が適用され、1～2月の新年会がキャンセルの嵐である。
▲	一般小売店〔書籍〕 (従業員)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染による影響が大きく、来客数、販売量共に大きく減っている。
▲	百貨店(売場主任)	来客数の動き	・2021年1月は大雪の影響があり、売上が低迷した。今年1月は、その反動で全体では前年実績を超えるものの、2020年1月の売上実績には遠く及ばない。特にまん延防止等重点措置の適用後は観光客、地元客共に市内中心部から消えている。1月後半は毎日、売上が3割減少で推移している。
▲	スーパー(店長)	お客様の様子	・小規模企業で廃業などの動きが散見され、一般消費の冷え込みを懸念している。
▲	スーパー(仕入担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響か、客の買物頻度が急激に落ち込んでおり、来客数が減少して客単価がアップしている状況である。現状は来客数の減少による影響が大きい。
▲	コンビニ(経営者)	単価の動き	・来客数は減っていない。
▲	コンビニ(営業)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響により、特にオフィス周辺や繁華街で2週間前から来客数が減っている。
▲	衣料品専門店 (経営者)	それ以外	・円安の影響で輸入品の価格が高騰しており、値上がりの影響を懸念している。
▲	衣料品専門店 (経営者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスオミクロン株による新規感染者数の急増で来客数が減っている。売上が回復する兆しも飛んでしまったようである。
▲	その他小売 〔ショッピングセンター〕 (統括)	来客数の動き	・3か月前は新規感染者数の減少傾向から来客数が回復していた。直近1週間は新型コロナウイルスオミクロン株による感染拡大のため県内ではレベルを上げて警戒を呼び掛けており、現在は来客数に影響が出始めている。
▲	一般レストラン (統括)	お客様の様子	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染が拡大して第6波となり、当地でも1月27日～2月20日までまん延防止等重点措置が適用され、客の外出が少なくなっている。車の交通量が減少し、駅周辺の人出も減少している。
▲	スナック(経営者)	来客数の動き	・前年同月とは比較できないが、前々年同月よりやや売上が悪く、相変わらず新型コロナウイルスによる影響を受けている。近辺では休業日を増やした店がある。
▲	観光型旅館(経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が急増し、キャンセルが増加している。
▲	タクシー運転手	来客数の動き	・1月に入り新型コロナウイルスオミクロン株を中心に急激に新規感染者数が増加している。1月27日から当地にまん延防止等重点措置が適用されたことにより、外出を避けているようである。夜の街も閑散としているため、売上が減少している。
▲	その他レジャー施設 〔スポーツクラブ〕 (総支配人)	お客様の様子	・新型コロナウイルスオミクロン株による新規感染者数が急激に増加している。新年からの希望的観測が打ち砕かれるかのように、客の動きが静かになってきている。
▲	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・例年1月は客の動きが鈍いが、今年は例年以上に動きが悪く、展示場への来場が少なく、契約件数も伸びない状況である。また、今月中旬以降は新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大もあり、更に動きが悪くなっている。
▲	住宅販売会社 (営業)	単価の動き	・ウッドショックによる木材の高値継続に加え、他の原材料も値上がりが確実となり、売価に転嫁せざるを得ない状況である。客足の更なる鈍化が懸念されるなか、新型コロナウイルスの新規感染者数の急増により、見通しはかかなり悲観的にならざるを得ない。

	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大で、街中から高齢者が消えた。人もめっきり少なくなり、ゴーストタウン化してきている。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・前年の緊急事態宣言発出時より売上は良いが、新型コロナウイルス発生前から比べると依然として厳しい状況が続いている。特に高額商品が動かない。
	×	一般小売店〔事務用品〕（店長）	来客数の動き	・コロナ禍で来客数の減少が目立つ。
	×	コンビニ（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大から客は行動の自粛に入ってきているようである。特に週末は減少幅が大きくなっている。とはいえ、以前の第2～4波の新型コロナウイルス全盛期頃と比べると、来客数の減少は幾分軽い。以前は3割以上減少していたが、今回は3か月前と比べて1割程度の減少となっている。
	×	コンビニ（店舗管理）	来客数の動き	・年始は好調だったが、中盤から新型コロナウイルスの感染再拡大に伴い、来客数が激減している。最終週は特に悪い。
	×	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大で行動の自粛に拍車が掛かっている。
	×	高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・初の県全域へのまん延防止等重点措置の適用は27日からだが、適用前からキャンセルが相次ぎ、新規受注も今回は1テーブル4人以下など厳しい環境となっている。集客は例年の約70%である。
	×	一般レストラン（店長）	来客数の動き	・年末から正月明けまで割と人の動きはあったが、中旬以降はぱったり止まっている。
	×	観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・前々年12月は28日よりGo Toキャンペーンが停止したが、今年は県民宿泊割引が実施され、前年比103%の売上を確保できている。しかし、新型コロナウイルス発生前と比べると70%の売上である。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・1月27日から再びまん延防止等重点措置が適用され、行政の宿泊者への応援施策が予約済みのものにも適用されなくなったため、1月最終週の予約はほとんどキャンセルになっている。2～3月も同様の状態である。
	×	都市型ホテル（役員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株による急速な感染拡大により、来客数、稼働室数共に前月比マイナス35%と大幅に低下している。10月から続いた回復基調は悪化に転じている。
	×	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響で、出張や旅行のキャンセルが相次いでいる。
	×	タクシー運転手	販売量の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株による感染拡大で、スーパー以外は人が少ない。観光タクシー等の予約キャンセルが相次いでいる。
	×	テーマパーク（役員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスによる新規感染者数の急増や、まん延防止等重点措置の適用により、人流が急激に鈍っている。また、県民対象割引等の需要喚起策が停止され、来客数が急激に減少している。
企業 動向 関連 (北陸)	◎	—	—	—
	○	食料品製造業（経営企画）	受注量や販売量の動き	・年明け後の閑散期ではあるが、外食やテイクアウト需要向けの受注に加えて海外輸出向け受注も好調で、前年実績を大幅に上回る勢いで推移している。
	○	精密機械器具製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・エリアによってばらつきはあるものの、今月の国内全体での売上は前年同期と比べ伸びている。大手チェーン店もさることながら、一般店での伸び率の方が大きくなっている。
	○	輸送業（管理会計担当）	受注量や販売量の動き	・荷動きは新型コロナウイルス発生前の水準に近づいている。
	○	通信業（営業）	受注量や販売量の動き	・前年10月より徐々に受注量が増加している。具体的には既設物品の更改、及び改正個人情報保護法施行前におけるネットワーク設備向けなどの商品が多くなっている。

	<input type="checkbox"/>	繊維工業（総括）	受注価格や販売価格の動き	・受注は企業や用途によってばらつきがあるものの全体としては回復基調にあり、新型コロナウイルス発生前の水準に回復している。ただし、外国人技能実習生を中心とした人手不足や原材料価格の高騰による収益圧迫を課題にあげる企業が増加している。
	<input type="checkbox"/>	化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量は変わらずに推移している。
	<input type="checkbox"/>	プラスチック製品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・半導体不足や世界的な新型コロナウイルスの感染拡大による輸送遅延、原材料費高騰等で、引き続き厳しい状況が続いている。
	<input type="checkbox"/>	一般機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量と販売量について堅調な水準が続いているが、大きな増減はない。
	<input type="checkbox"/>	建設業（経営者）	それ以外	・当社は公共土木工事を主とするため受注や損益状況は悪くないが、コロナ禍でサービス業が振るわず、その影響で全体としては変わらない感じである。
	<input type="checkbox"/>	金融業（融資担当）	取引先の様子	・直近の財務資料で業況は改善傾向ではあるが、景気が上向きになっているとはいえない。また、新型コロナウイルスオミクロン株が流行し始めており、むしろ景気が下向きになる可能性が高い。
	<input type="checkbox"/>	不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・同業者の話では、仕事が少しある人と仕事がない人が半々の状態である。
	<input type="checkbox"/>	司法書士	取引先の様子	・前年後半に事業年度を迎えた会社について、B to C関連はともかく、B to B関連は売上は余り変わらないが、経費が減ることで利益が増えている会社が多い。
	<input type="checkbox"/>	税理士（所長）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響による業種間の景気のばらつきは変わらず、観光や販売関連は非常に厳しい。これも新型コロナウイルスの影響だが、半導体不足により電機関係の製造業、電気工事業関連で、受注はあるが仕事ができず、売上をほとんど上げられないという非常に厳しい状況に置かれている。一部内需関係で回復している会社はあるが、全体としては3か月前と同じく厳しい状態が続いている。
	▲	—	—	—
	×	輸送業（役員）	取引先の様子	・コロナ禍に加え、燃料価格の高騰、半導体不足のため悪くなっている。
雇用 関連 (北陸)	◎	—	—	—
	○	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・数か月前と比較すると、少しずつではあるが求人広告の出稿件数が上向いている。
	<input type="checkbox"/>	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・求人数に大きな変化がない。
	<input type="checkbox"/>	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・少しずつではあるが、求人数が増加へ転じている。しかし、全体的にみるとまだ新型コロナウイルス発生前の20%程度である。
	▲	新聞社〔求人広告〕（営業）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大で売出しなどの販促をやめる企業が増えている。また、観光業は再び動きが一切なくなってきた。
	▲	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・前年同様に年末年始明けに新型コロナウイルスの感染が拡大することまでは読んでいたが、検査体制が強化されたことや、感染力の高い新型コロナウイルスオミクロン株が発生したことなどで、市内の基幹産業がかなりの打撃を受けている。
	×	—	—	—